

河川の「出水期」に『備え』を!

～風水害への備えは大丈夫ですか?

少しでも危険を感じたら、早めに避難しましょう～

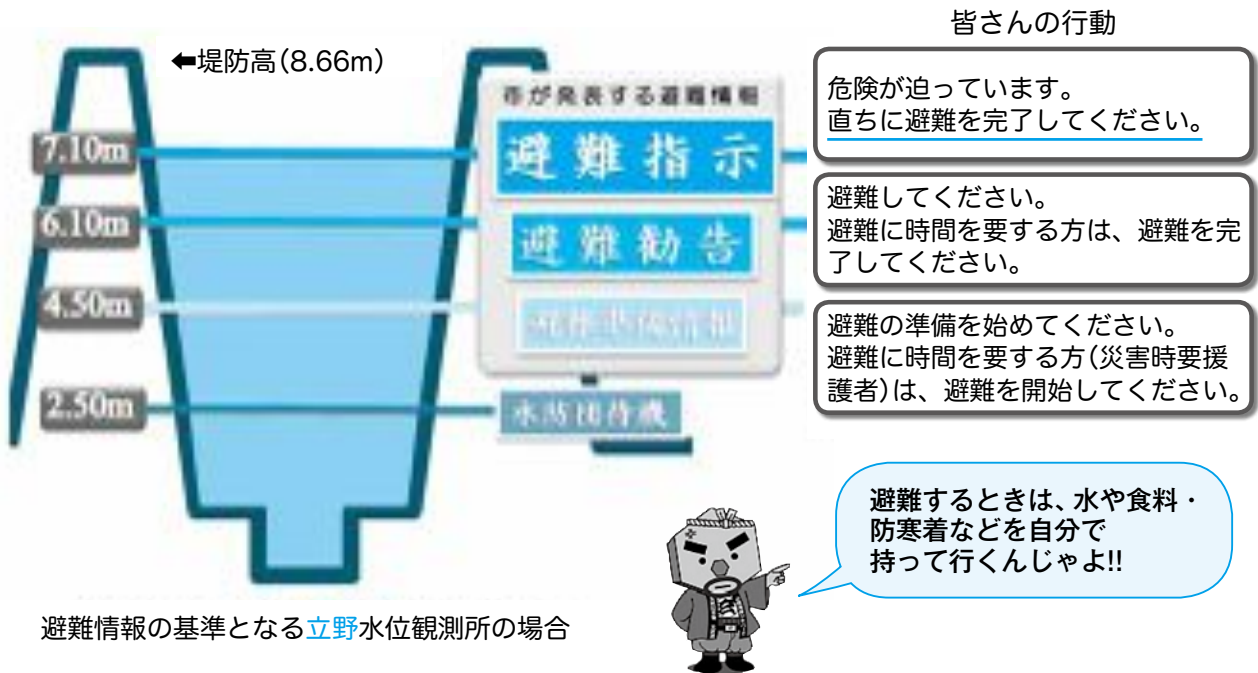
6月に入り、今年も河川の出水期を迎えました。円山川は、上流が急な勾配であるのに対し、下流に位置する豊岡盆地周辺は緩やかな勾配のため、氾濫が非常に起きやすい地形です。

また、最近は、“ゲリラ豪雨”と呼ばれる、局地的で短時間に猛烈な雨が降る回数も増えています。

被害を最小限に抑えるため「自分たちの命は自分たちで守る」という心構えと日頃の準備、そして家庭や地域での連携と助け合いを、ぜひ、お願いします。

《問合せ》防災課防災係 ☎23-1111

河川水位の危険度レベルと避難情報



テレビ・ラジオ
台風などの進路予測、気象予報・警報等が入手できます。テレビのデータ放送が充実しています。

防災情報を確認する!

出水期に『備える』ための大切なポイント

河川が増水すると、本流の水が支流へ逆流し、内水被害を及ぼす危険性があります。この場合、本流と支流の間の水門を閉じて逆流を防ぎ、排水ポンプで強制的に支流の水を本流に排出します。

しかし、本流の水位が上昇し続けた場合、支流の水を排出し続けると、堤防が決壊する危険性が出てきます。このため、円山川立野地点の水位が、堤防の高さまであと1.5mに迫る7.16mを越え、さらに上昇の恐れがある場合は、堤防の決壊を防ぎ、まちを守るため、排水ポンプを停止します。

河川の排水ポンプを停止することがあります

風水害時、市の避難情報が

非常持ち出し品の準備!

また、防災関連の情報は、気象庁や市などのホームページでも入手できます。市内の気象情報や雨量情報、河川の水位情報、その他必要な情報を自ら進んで入手しましょう。

携帯電話で「とよおか防災ネット」や「円山川防災情報」に登録すると、防災情報メールが届きます。また、「川の防災情報」で、河川情報が入手できます。

その他

政無線戸別受信機を高い所や2階へ移動させてください。



防災行政無線放送
台風情報をはじめ、市内の主な河川の水位情報や避難勧告の発令情報などをお知らせします。聴覚障害のある方へは、ファックスで放送内容等をお知らせします(要申込)。※被害発生時の恐れがあるときは、防災行政無線は、防災行政無線を停止します。

発表された場合は「避難する方自身が食料等の『非常持ち出し品』を持参すること」を原則としています。各家庭で3日分の飲料水や食料、生活必需品を備蓄してください。

避難所の確認！

市が指定する避難所によっては、「風水害時」に使用しないところもあります。あらかじめ、市防災マップや市ホームページで、避難所や避難経路を確認しましょう。

■災害の発生またはその恐れがある場合

その恐れがある場合

- ・警察、消防団、区や自主防災組織の誘導・指示に従う。
- ・避難途中の浸水、土砂災害に注意する。
- ・避難所が遠方でない限り、車での避難は控える。



避難が遅れたときは、
建物の2階以上へ！

浸水時に、水の深さがひざの位置を上回ると、移動するのは非常に危険です（それ以下

下の深さでも、水の流れによつては歩行は困難です）。

指定避難所への避難は、道路が冠水するまでの早い段階で行うことが重要です。市は、河川の水位の上昇に合わせて避難情報を発表しますが、各地区内の個別の浸水状況を全て把握することはできません。そのため、地区によっては市の避難情報を待たずに、自らの判断で避難することも必要になってきます。

夜間や激しい降雨時、道路冠水時など避難路上の危険箇所の把握が困難な場合は、屋外での移動は極力避けて、建物の2階以上に一時退避してください。土砂災害の危険性がある場合は、同じ2階でも、山側と反対の部屋に移動してください。



災害時要援護者の避難に
協力しましょう！

皆さんの地区にお住まいの高齢者や子ども、病気の方など（災害時要援護者）は、特に

早めの避難が必要です。災害時要援護者の避難は、隣保など

地域みんなが協力し、安否確認や避難の呼び掛け、手助けをしましょう。



土砂災害から身を守ろう！

出水期には、集中豪雨や台風などの影響で、山間部などでは「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」が発生しやすくなります。

市では「土砂災害警戒情報」が発表された場合などは、防災行政無線などを通じて、市民の皆さんへ注意を呼び掛けますが、少しでも異変を感じたときは、早めの自主避難を願います。

防災情報
非常持ち出し品、避難の方法については、36ページでも紹介しています。



いざというときのために… 地域で災害に備えるためには？

市が避難準備情報を出したときや異常な雨で辺りが冠水し始めたとき、大雨で裏山から変な音（地鳴り）がするとき、家族や地域でいつどのような行動を取りますか？

いざというときに備えて、地域の危険箇所やこれまでの風水害での地域の特徴を知ること、災害時の行動について話し合うことは、各区の地域防災力アップにつながります。

市では、地域防災力アップのための自主防災活動などを支援しています。防災課に気軽に相談してください。



▲出前講座

○出前講座 職員が講師として出向き、風水害・地震・津波の話、自主防災組織の活動などについて話します。

○防災ワークショップ 区内を実際に歩き、地域の特徴・危険箇所を確認し、区独自の災害時の避難ルールや防災マップの作成を支援します。

○自主防災組織活動支援 規約・マニュアル等の作成支援、各区の訓練支援を行います。「自主防災組織資材整備補助金制度」を設けています。



▲防災ワークショップ